

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

被告人の上告趣意は、結局事実誤認の主張に帰し刑訴四〇五条に該当しない。また記録を精査しても、同四一條を適用すべきものとは認められない。

よつて刑訴施行法三条の二、刑訴法四〇八条により主文のとおり判決する。

この判決は、裁判官全員一致の意見である。

昭和二六年一〇月四日

最高裁判所第一小法廷

裁判長裁判官	眞	野	毅
裁判官	澤	田	竹 治 郎
裁判官	齋	藤	悠 輔
裁判官	岩	松	三 郎